

2025.1.14@和泉市コミュニティセンター

全史料協 2024 年度公文書館機能普及セミナーIN 大阪

報告

和泉市における『文書館』機能開設への 道のりと課題

和泉市教育委員会 生涯学習部次長
兼 文化遺産活用課長 森下 徹

目次

- 1.はじめに
- 2.市史編さん事業の展開と「文書館」
- 3.「文書館」機能開設への道のり
- 4.「文書館」機能開設に向けた課題
参考文献等

自己紹介

日本近現代史専攻

1997 和泉市教育委員会非常勤嘱託（市史編さん担当）

2004 和泉市教育委員会学芸員 文化財振興課（現文化遺産活用課）

2018 文化遺産活用課長（いずみの国歴史館館長）

2021 認証アーキビスト（JCA2020171）

1.はじめに

- ・和泉市における「文書館」の特徴

経緯：市史編さん事業を継承・発展

文書館（もんじょかん） × 公文書館

対象：市史で収集・調査した地域史料（古文書等）

+ 歴史公文書 永年→30年

所管：教育委員会

市史編さん事業 教育委員会文化遺産活用課の事業

施設：独立した「館」ではなく、いずみの国歴史館に市史を移転し「文書館」機能開設。歴史館の機能拡充。

例規：公文書管理条例（総務管財室所管）

歴史館条例の一部改正（R8.4施行）

・課題

収集・保存：書庫スペースの確保

評価選別

電子決裁文書の移管

公開・利用：調査研究機関 + 保存・利用・公開機関

地域資料 + 歴史公文書 行政の説明責任

史料所蔵者の承諾、目録整備

デジタルアーカイブの構築

レファレンスの充実

市民利用・庁内利用の促進等

例規：歴史公文書の決定に係る基準（評価選別）

の運用

利用、公開等に関する関連規則制定

2.市史編さん事業の展開と「文書館」

①市の概要

1956和泉町＋南部6ヶ村 人口5万人 和泉国に因み和泉市

1960八坂町・信太村合併 人口7万人

横山（槇尾川上流） 、池田（槇尾川中流）

松尾（松尾川上中流）、府中（槇尾川・松尾川合流）

信太（信太山丘陵）

1965 市制10周年『和泉市史』第1巻 1968 第2巻

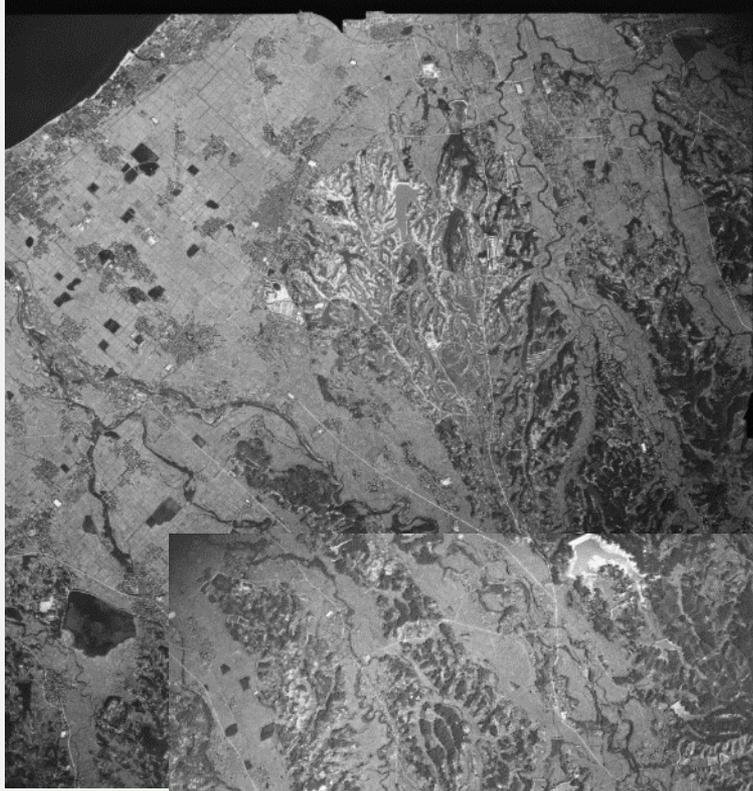
1972 人口10万

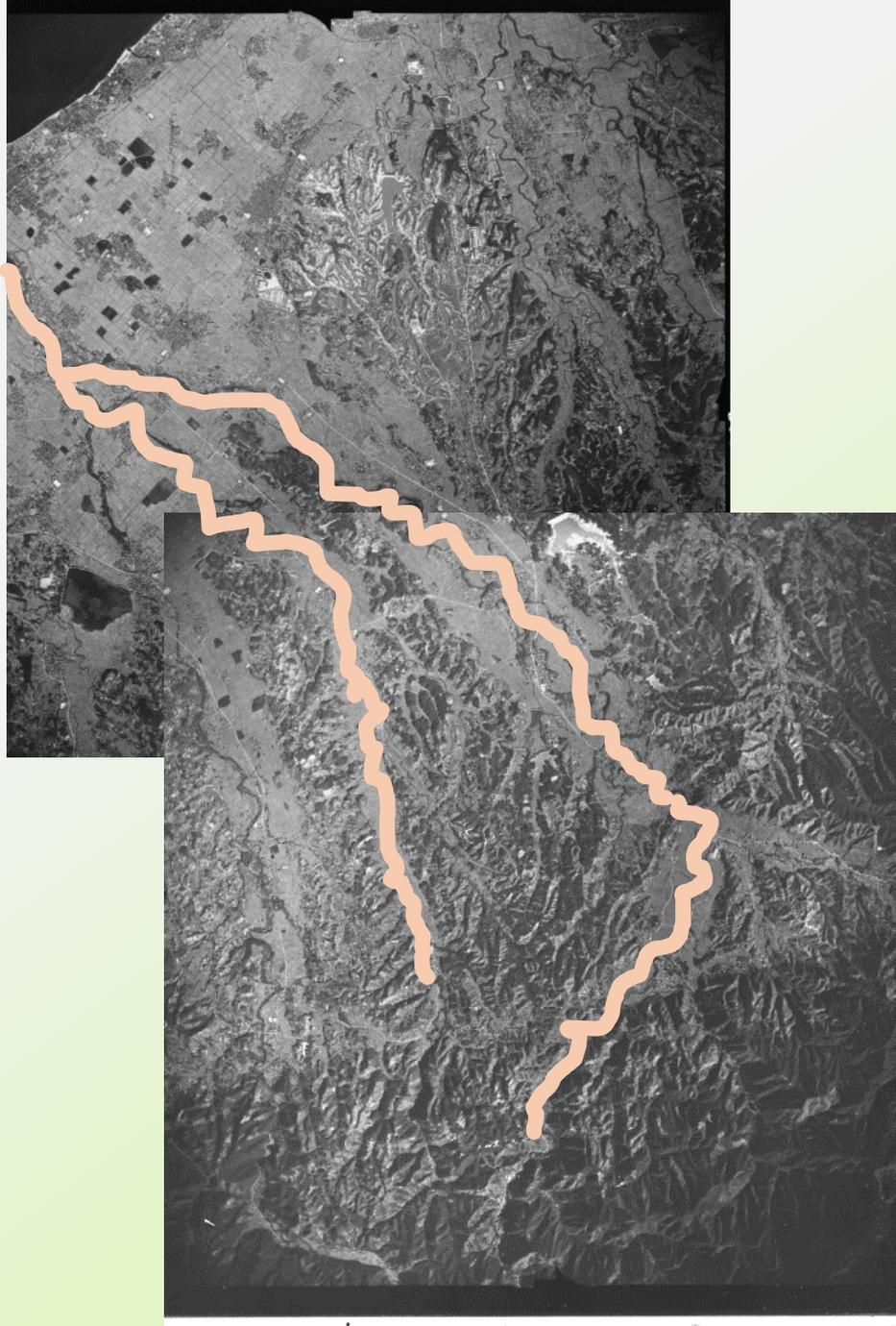
1992 トリヴェール和泉 1993 15万人 2024 18.2万人

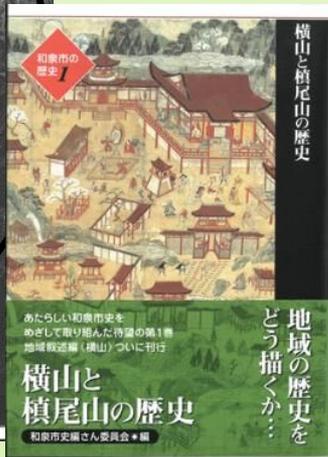
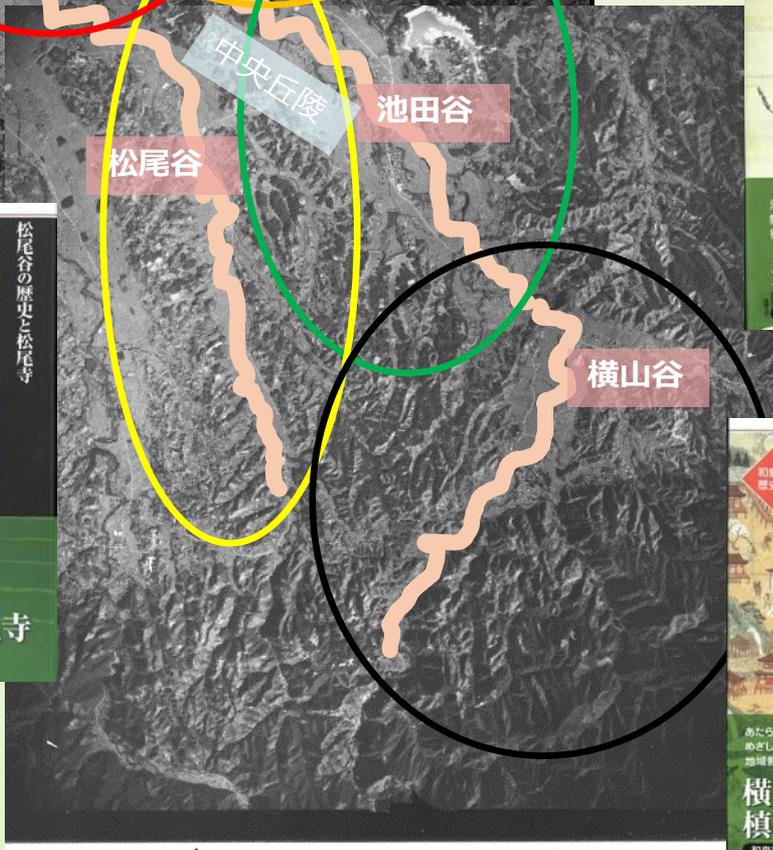
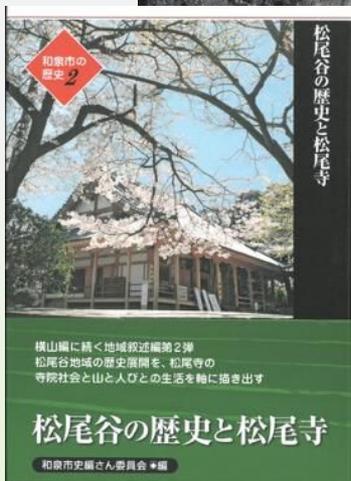
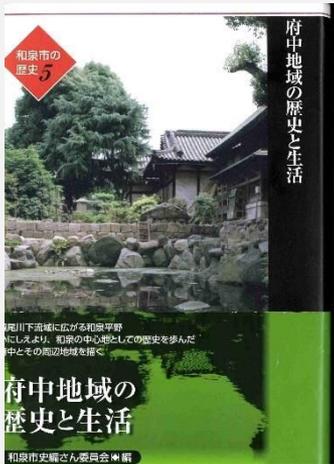
農業と織物のまちから郊外の住宅都市へ



6







②市史編さん事業

- ・ 1996 市史スタート 走りながら考える
大阪市大日本史研究室 阪神淡路大震災 史料ネット
- ・ 文化財振興課（現文化遺産活用課）の一事業 一課一係
不十分な予算体制 自由な活動 埋蔵文化財、歴史館等との連携
1996 学芸員1，嘱託1，再任用1，1997 嘱託+1
2024 学芸員2（本庁）、会計年度学芸2・事務1
*2021 学芸員（文献）採用
- ・ 1998 市史編さん大綱 策定 4つの基本方針
史料保存と本の編纂を車の両輪 史料の保存公開（将来の課題）

4. 市史の調査で収集した資料は、市民が活用できるように保存管理し、後世に伝えるために、資料の調査・収集・保存・活用機能を備えた施設・機構の整備が今後の課題となる。

- 本の構成

全9巻（地域、テーマ、通史）2005～ + 紀要（史料編の役割も）

- 調査体制

大阪市大（公大）合同調査24町、大阪大谷大仏像合同調査60数寺
町会≡大字≡近世村＝檀那寺 *中学校区≡旧行政村
町会を入りに地域住民・地域史料との多様な接点

- 四半世紀の成果

市史8/9巻、紀要34集、別編1、郷土史読本1 市史だより306号
寄贈・寄託 70件12000点以上 103.7 m 黒鳥村文書（府指定）
複製資料・マイクロフィルム等 187.6 m

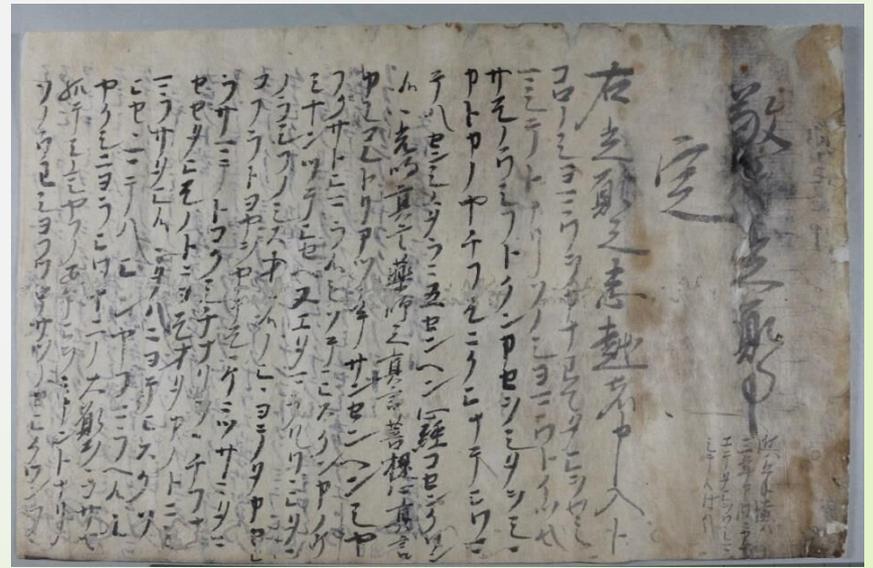
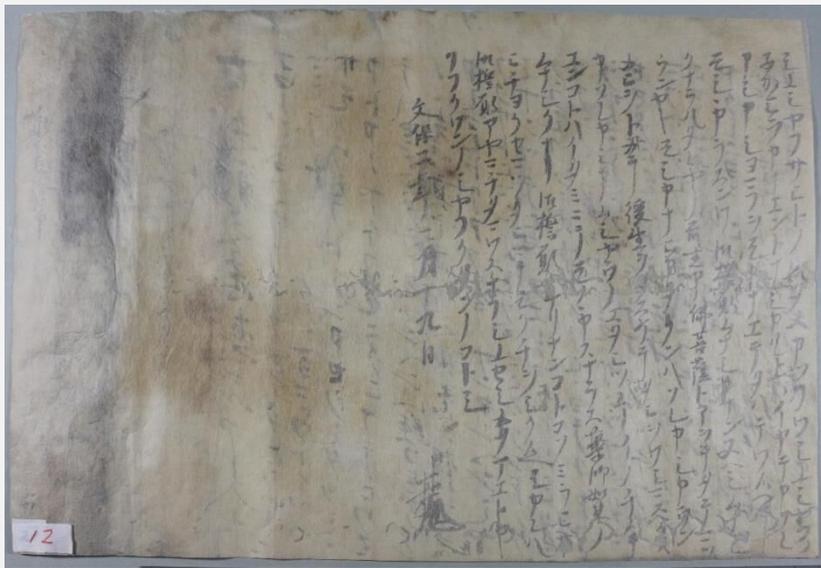
旧町村役場公文書 1999情報公開条例 書庫「整理」散逸の危機
一括して文化財振興課に移管 合併以前754点 2011市指定文化財
2021新庁舎移転に伴い「公文書」の収集



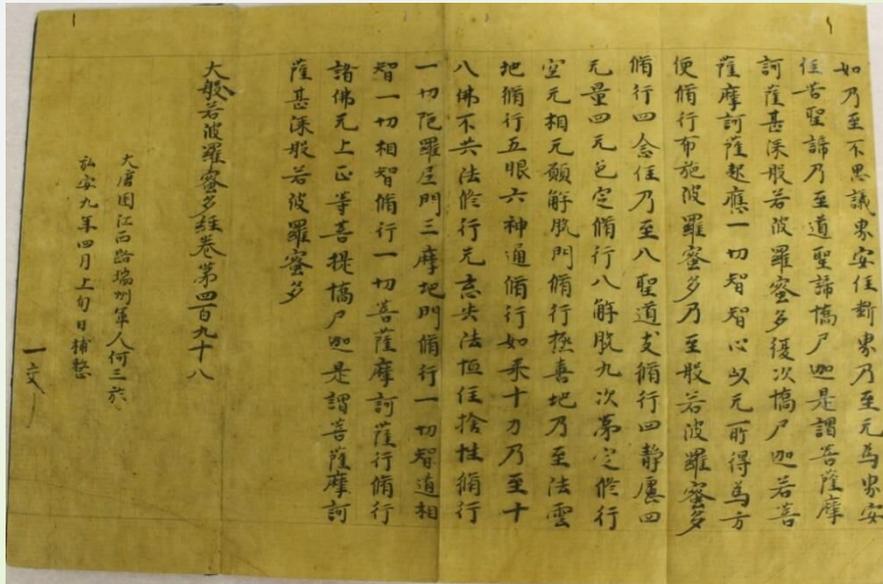
▶ 大阪市大との合同調査



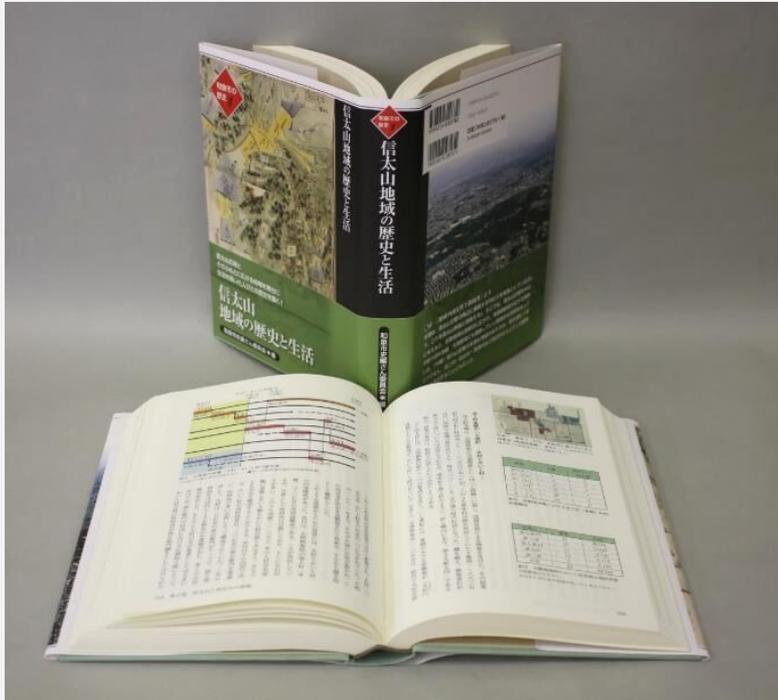
▶ 大阪大谷大との仏像調査



▶ 黒鳥村文書（府指定） 文保2年（1318）2月19日 某立願文（表）



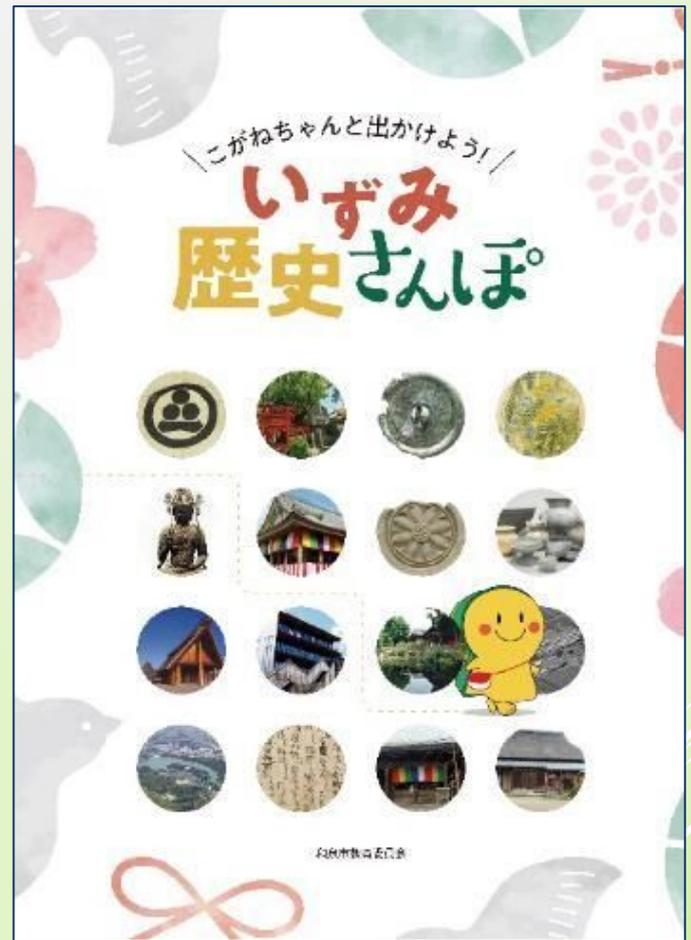
▶ 森光寺 大般若經（市指定） 第498卷 弘安9（1286）年の識語



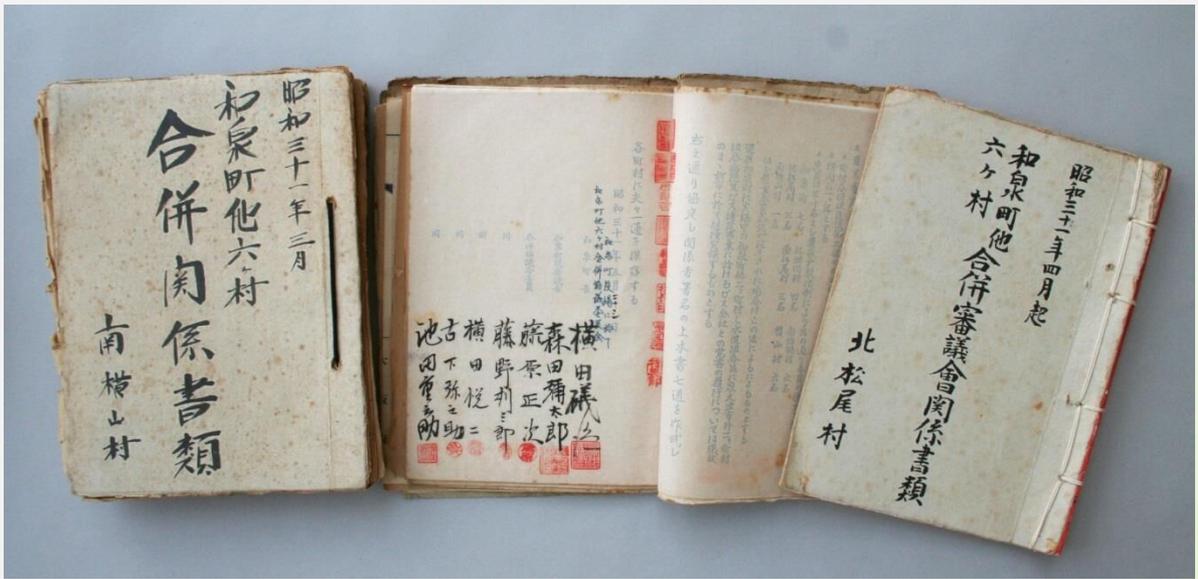
和泉市の歴史



和泉市史紀要



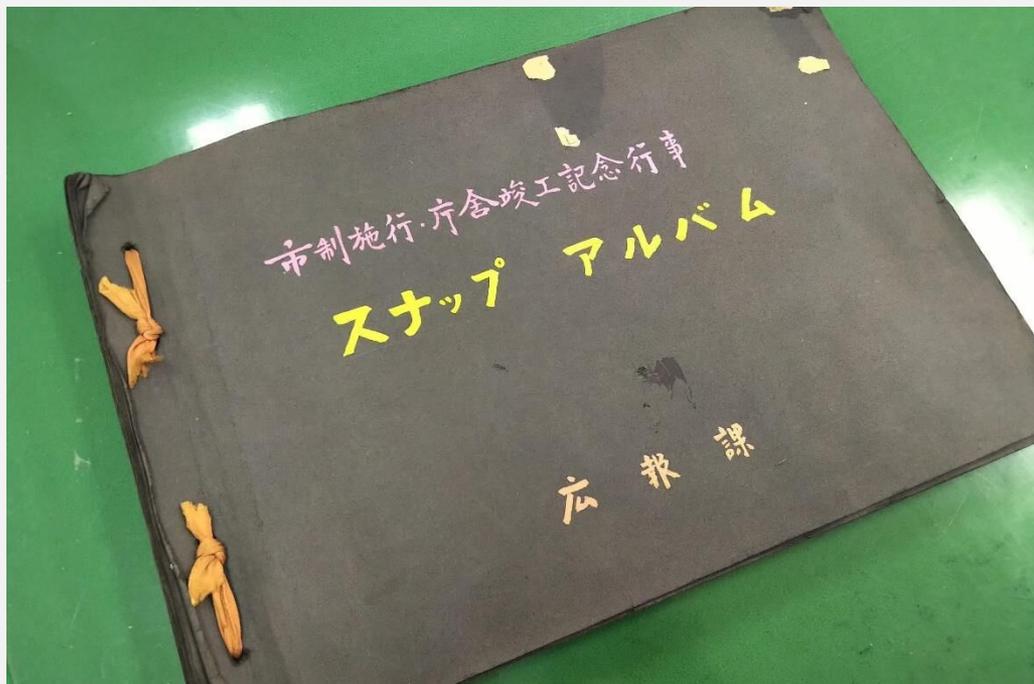
郷土史読本



▶ 旧町村役場公文書
15



▶ 旧町村役場公文書 16



- ▶ 新庁舎移転の際、旧庁舎地下書庫から発見されたアルバム
- ▶ 現課から（正確には所管課不明）文化遺産活用課に連絡があり、移管



3. 「文書館」機能開設への道のり

①和泉市躍進プランと第5次総合計画

- ・躍進プラン 2015～19 歴史資料公開事業

市史編さんで収集・保管する古文書・歴史資料や旧町村役場公文書（市指定文化財）を広く市民に公開するため、市史編さん室（市役所分館）に公開・閲覧スペースを整備するとともに、（仮称）文書（もんじょ）館の開設を検討する。

- ・和泉市文書取扱規則の改正 2015.4 第21条第6項

歴史又は文化に関する資料として重要と認められるものについては・・・文化財所管部署に引き継ぐことができる。

- ・第5次総合計画 2016～25 地域文化財の保全と情報の発信

市史編さん事業を通じて調査・収集した古文書や歴史公文書を一般向けに公開する「（仮称）文書館」の開設に取り組み、市民の郷土愛を育みます。

②和泉市創発プランと和泉市文書館業務検討委員会

- ・創発プラン 2020～24 歴史資料公開事業

市史編さん事業を通じて調査・収集した古文書や歴史的価値を有する公文書を一般に公開する「文書館」の開設に取り組む。

- ・和泉市輝く子どもを育む教育のまち条例2021.4

郷土和泉を誇りに思い、愛する心を持ち得るよう・・・施策を展開

- ・北西部地域公共施設再編成事業に係る公共施設の配置計画2021.6

市史編さん室

「文書館としての機能・運営内容等を踏まえ移転先を検討」

- ・和泉市文書館業務検討委員会 2020.8～21.8まで計4回

答申「和泉市文書館業務に関する基本的な考え方について」2021.8

③庁議・政策調整委員会 2023.10

- ・市史編さん室を「いずみの国歴史館」が所在するまなびのプラザ内(現緑化センター事務所)に移設し、文書館機能を設置すること
- ・庁舎第1分館に書庫機能を確保すること

→2023年度 公文書管理条例、歴史館条例の一部改正

2024年度 まなびのプラザ・庁舎第1分館改修

2025年度 市史編さん室および書庫の移転

2026年度 いずみの国歴史館に「文書館」機能オープン

④文書館業務検討委員会答申 2021.8.11

「和泉市文書館業務に関する基本的な考え方について」

1. 文書館の基本理念

「歴史に学び、現在を捉え、未来を見通す文書館」

2. 文書館の役割

- (1) 文書の散逸を防ぎ、市民のかけがえのない財産として次世代に伝えていく。
- (2) 地域の歴史を紐解き、市民の文化の発展と自治意識の涵養に寄与する。
- (3) 歴史公文書を適切に保存・公開し、現在及び将来の市民が、過去の市政及び市民生活について知る権利を保障する。
- (4) 過去の市政を検証する基礎資料となる歴史公文書を適正に公開することにより、より効果的な行政運営に資する。

⑤文書館業務検討委員会答申 2021.8.11

「和泉市文書館業務に関する基本的な考え方について」

3. 文書館の機能

- (1) 文書の収集、整理、保存、補修 地域資料、歴史公文書、行政刊行物
- (2) 文書の調査研究 市民の主体的な学習・研究
- (3) 文書の公開、レファレンス 文書検索、デジタルアーカイブ、
資料所蔵者とのコンタクト
- (4) 調査研究成果の共有・情報の共有 市民、職員
- (5) 文書の保全 災害
- (6) 和泉市史の刊行

4. 施設、体制などについて

- (1) 人材、(2) 施設、(3) 設置場所、(4) 設置の根拠
- (5) 運営体制、(6) 必要な例規、基準の整備、運用
- (7) 運営委員会

4. 「文書館」機能開設に向けた課題

①例規等の整備

- 2024.3 公文書管理条例制定
いずみの国歴史館条例の一部改正
地域資料の収集・保存・展示＋一般の利用に供する
特定歴史公文書を永久保存し一般の利用に供する
- 2024.5～6 和泉市文書管理委員会 評価選別基準 諮問・答申
- 2024.8 和泉市歴史公文書の決定に係る基準に関する要綱
- 2025年度 利用・公開に関する規則等の制定
歴史公文書の利用請求（公文書管理条例）
地域史料の利用閲覧（歴史館条例）

②収集・保存

書庫 スペース 庁舎第一分館(旧病院南館) 歴史館との距離
評価選別 現在文化遺産活用課による2次選別中 試行錯誤
電子公文書 2014.1～電子決裁導入 10年保存 システム更新

③公開・利用

調査研究機関／地域資料 + 保存利用公開機関／歴史公文書
史料所蔵者の承諾 関係の再構築、寄贈・寄託
目録整備 古文書に適した目録、現用公文書に対応した目録
件名目録
デジタルアーカイブの構築
リファレンス機能の充実強化
市民・庁内への普及・PR 職員研修、愛称募集予定



市史編さん室（作業室・執務室） 2023.9撮影



市史編さん室（書庫）

（左）古文書箱 （右）複製資料のファイル、（手前）資料を撮影台
ブルーシートは雨漏りを除けるためのもの。撮影：2023年7月

主な参考文献等

村上絢一・森下徹「保存期間満了文書の評価選別に向けた全庁ヒアリングの実施について」国立公文書館『アーカイブズ』第93号(2024.8.30)

和泉市史編さん委員会編『和泉市史紀要第18集 和泉市旧町村役場公文書目録』2011

和泉市文書館業務検討委員会 <https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/syougaiibu/bunkaisan/council/monjokankentou/index.html>

和泉市文書管理委員会 <https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/syougaiibu/bunkaisan/council/bunshoiinkai/index.html>

和泉市庁議・政策調整委員会 <https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/kikaku/chougiseisakuchouseiinkai/17375.html>

「全史料協近畿部会第167回例会報告」『Network』85、2024.8